

週休2日制試行工事

事例② 都立東村山高等学校（29）改築工事〔財務局〕



2019年11月末の施工状況

建築・電気・機械の各工事の連携により、現場全体で週休2日を実現！

本工事では、建設後約50年が経過し老朽化した校舎棟などの反転改築を行い、教育環境の向上を図ることを目的としています。

本工事は、建築工事だけでなく、電気設備工事や機械設備工事とも連携を図りながら「現場全体として週休2日の実現」に向けて取り組んでいます。現場には子育て世代も多く居ることから、週休2日が確保されることで休日における家族サービス等が充実し、ライフワークバランスの推進に繋がると考えています。



完成予想パース

技術者の声

プロフィール



(株)浅沼組 東京本店
東村山高校改築作業所
高木典久
1989年入社

大学では環境工学を専攻。入社後はホテルや大学校舎建設、再開発ビル工事に従事。現所属において現場所長をしている。

Q 週休2日を実現するための具体的取組は

本工事は、昨今の猛暑や台風に対する対応が発生し、実工期がかなりタイトな状況にあります。

そのため、施工工法の工夫を検討し、クローラクレーンの効率的な配置や梁鉄筋の先組工法、スライド式鋼製型枠を採用し、生産性の向上に努めております。（下記写真を参照）

また、気候等により工程が遅れた際の急な工程変更や増員が必要となった場合に、柔軟な対応が可能となるよう、下請負契約時には同一の工種であっても複数の会社と契約を結ぶ等の工夫を行っております。

Q 建設業を目指す方へのメッセージをお願いします

建設業は何もない土地に様々な人と協働しながら大規模な物を造っていく職業です。そのためには専門知識は当然ですが、コミュニケーション能力、段取り力が鍛えられます。自分の子供や孫の世代まで残る建物を共に建てましょう。

思い出の現場

2016年に携わった大学校舎建設工事です。建物内には教室の他に図書館や博物館、体育館なども配置されていて様々な事を検討しなければならず大変勉強になりました。



完成後の建物



左：スライド式鋼製型枠の施工状況 右：梁鉄筋先組工法